

# 「ひとつ、ひとつ、実現するふくしま」 農林水産部で中期（1年）で実現すること

R3  
実績



県内の農林漁業者・消費者の方々の復興への「実感」向上に向けて取り組みました。

令和3年度の主な取組と実績は、以下のとおりです。

[ 目標 目標値(現況値) ⇒ 実績 実績値 ]

## ①東日本大震災・原子力災害からの復興

### 営農再開等復興の加速化

- 生産施設等の整備  
[目標] 7市町村 17箇所 ⇒ [実績] 7市町村 13箇所
- ほ場整備 ※津波被災  
[目標] 2市・86ha ⇒ [実績] 2市・67ha
- 避難地域等の農地集積促進  
コーディネーターの配置 [目標] 12人 ⇒ [実績] 12人
- 「高付加価値産地構想」の実現に向けた体制整備  
[目標] 産地協議会の設立及び産地計画の策定を支援
- 森林整備と放射性物質対策の一体的な実施  
[目標] 2,072ha ⇒ [実績] 1,926ha
- 広葉樹林の再生 [目標] 63ha ⇒ [実績] 74ha
- 共同利用漁船の復旧 [目標] 6隻 ⇒ [実績] 3隻

## ②持続的な発展を支える強固な基盤の確保

### 担い手の確保・生産基盤の強化

- 担い手への農地集積の促進  
[目標] 68,900ha(51,889ha(R2))  
⇒ [実績] 54,171ha
- 収入保険（農業）の加入促進  
[目標] 3,000経営体（2,676経営体）  
⇒ [実績] 3,242経営体
- ほ場整備率  
[目標] 73.6%（73.2%） ⇒ [実績] 73.8%
- 林業アカデミーふくしま 短期研修の開講  
[実績] 11講座 延べ228名受講

## ③安全で魅力的な農林水産物の供給

### 安全安心の確保・戦略的な生産活動の展開

- 第三者認証GAP取得拡大  
[目標] 800経営体(680経営体) ⇒ [実績] 704経営体
- 有機農業の拡大 [目標] 250ha(180ha) ⇒ [実績] 180ha
- 「福、笑い」本格デビュー  
[目標] 25ha・130t ⇒ [実績] 25ha・130t (10/28)
- スマート農業の取組拡大  
[目標] 670経営体(525経営体) ⇒ [実績] 676経営体
- 福島牛ブランド力強化に向けたAI肉質診断  
[目標] 1,000頭 ⇒ [実績] 1,041頭
- 県内産ヒラメの種苗放流  
[目標] 100万尾 ⇒ [実績] 132万尾
- 県産水産物販売コーナーの拡大  
[目標] 新規10店舗以上 ⇒ [実績] 8店舗

## ④活力と魅力ある農山漁村の実現

### 農山漁村の活性化

- 多面的機能支払事業による農地の保全管理  
[目標] 66,976ha ⇒ [実績] 67,517ha
- 地域外との交流による地域保全活動  
[目標] 3地区 ⇒ [実績] 3地区
- 地域ぐるみでの総合的な鳥獣被害対策  
[目標] モデル14地区 ⇒ [実績] モデル15地区
- 農業用ため池ハザードマップ作成  
[目標] 210箇所増加 ⇒ [実績] 199箇所

## 災害への対応

- 令和3年福島県沖を震源とする地震  
■被災した選果場、ため池等について、復旧・応急対応等を進め、集出荷や営農等への影響はなかった
- 令和3年4月の凍霜害  
■収穫可能な果実の確保に向けた人工受粉、摘果、夏季せん定等の技術指導を実施。野菜はほぼ例年どおり、果樹は令和元年比6～8割の収量となった。  
■果樹産地の安定生産に向けた防霜ファン等の導入支援。

## ALPS処理水の処分に関する基本方針決定を受けた対応

- 新たな風評や、水産業への影響の懸念への対応  
国への要望活動を実施。  
国の令和4年度予算等に以下の対策が措置された。
  - 県産水産物の需要減対策
  - 漁業用機器の導入事業の拡充など生産体制の強化
  - 次世代漁業人材の確保